

令和4年度 活力あるまちづくり支援金事業 1次募集 採択事業 一覧表

No.	団体名	代表者	事業名	実施場所	事業内容	R4	
						総事業費	内示額
1	上田地球を楽しむ会 熱電発電プロジェクトチーム	林 一六	里山の林木を用いて発電する装置の製作と地球温暖化防止への活用	上田市古里及び上野が丘公民館など	里山からの薪炭を用いて発電する装置を製作し、それを家庭や地域で利用する実証実験を目的としている。このことによって、里山林は光合成によって大気中の炭酸ガスを吸収し、同時に地域の気候の変動をやわらげ、治水の役割をはたすので、環境保護の作用もすると期待される。	370,000	277,000
2	五合サロン	宮下 陽帆	親子で異文化ふれあい交流会	市内公民館	①親の育児に関する悩みを解消し、より楽しい育児を目指して、親子関係を深めることができるよう、よりよい育児環境を作っていく。 ②異文化に触れ、学び、経験することにより、子どもたちの視野を広げることができる。さらに、イベントを通してコミュニケーション能力やプレゼン能力の向上を図り、グローバルな活躍ができる子どもたちの育成につなげる。	220,350	165,000
3	NPO法人上田演劇塾	岩下 郁子	「雨ニモマケズ 風ニモマケズ」を朗読する会	上田文化会館	年代をこえて愛されている宮沢賢治の詩を朗読して楽しむ場をつくる。文化を通じて子どもから大人まで幅広い出会いと交流の場を創設する。朗読会に参加し舞台に立つ。幼少期から舞台に立てる喜びや緊張感を体験することにより、達成感を得、自己肯定感が高まります。大人でも舞台に立つ機会は稀であり、多年代で一緒に朗読会を成功に導く達成感が大人になっても自己肯定感の向上につながり、主体的に行動する力が養われます。	329,800	247,000
4	心豊かな絆の会	成澤 啓輔	どろんこ自然体験教室	中丸子親水広場	現在、子供たちが自然体験を行う機会が年々減少しています。子供が心豊かに成長する原点は、親子が肌のふれあいをしながらの自然体験をする事と思います。大勢の子供たちが自然体験をする事で、協調性や、助け合いの心を育て心豊かに成長する事を目的としています。	115,240	86,000
5	ドローンチーム Peaches ※条件付採択	中澤 桃子	親子ドローン体験会～空飛べ夏休み！～	上田市内(塩田西小学校の予定)	ドローンなどの無人航空機に関し、「有人地帯上空での補助者なし目視外飛行」、いわゆる「レベル4飛行」を実現することが政府目標となっており、荷物輸送など無人航空機の更なる利活用が期待されている。2022年度からの操縦ライセンス制度の新設等の法整備が進められている。 今後、ドローンの利活用が進められる現状において、上田市からドローン人材を輩出していく土台を創出することを目的とする。	178,997	126,000
6	こどもICT活性化推進委員会	吉澤 拓玖	地域こどもICT活性化推進プロジェクト	サントミュージゼ、Wi-Fi完備地域研究施設	GIGAスクール構想や、コロナ感染拡大による学習のオンライン化、また義務教育課程における上田市の一人一台端末を用いた学習の機会も2年目を迎えるにあたり、ICT端末を使い、より幅広い活動の紹介や体験活動を通じて、地域の子どもたちと楽しく活動をおこなう機会をつくります。	433,685	300,000
7	WAKUWAKU地域創生チーム	斉藤 繁子	先進的な教育を中核とした地域づくり	鹿教湯温泉交流センター	教育(幼小中)の多様な選択肢が地方であることがまちづくりにおいて重要である。上田市の自然、首都圏からの地の利の良さなどの資源を最大限に生かした創生プロジェクトを、コロナ禍の今だからこそ地域で考え、移住しやすい魅力的な地域のトータルデザインを描き市民や上田市にも提案していく。	266,760	200,000
	合計					1,914,832	1,401,000

令和4年度 活力あるまちづくり支援金事業 2次募集 採択事業 一覧表

No.	団体名	代表者	事業名	実施場所	事業内容	R4	
						総事業費	内示額
1	遊ボールボランティア上田	宮下 省二	遊(あそ)ボールで園児の運動習慣を高める事業	市内保育園・幼稚園	ボール遊びを通して園児の運動能力を育むため、「走る」「投げる」「捕る」「打つ」等の基本動作を習得し、小学校等の活動につなげることで、地域のスポーツ振興に寄与したい。	448,030	300,000
2	(一社)上田青年会議所 LOVE!あふれる子育て委員会	伊藤 孝亮	出張!こどもカフェ!	アリオ上田	【目的】子ども達が安心して過ごせる場所を確保するとともに、幅広い世代とのコミュニケーションをはかることで地域として子育てしていく環境づくりの一助とする。 【効果】子ども達が様々な世代とのコミュニケーションを通じて地域への愛着を感じ、住みやすい地域と認識してもらうことで将来の定住先として選択するようになる。	380,698	92,000
3	てまサポ	横山 清春	情報格差を生まない持続可能な地域づくり	市内	デジタル化が進み効率的な情報伝達が可能になる一方で、デジタルに不慣れな方にとっては各種情報を入手しにくい状況もあり、それらを解消するべく使い方指南などの側面支援を行います。情報格差を生まない取り組みは、特に高齢者にとって、外出頻度の低下を避けることができる重要な仕組みであり、健康で持続的な市民生活に役立つ施策になると考えます。	549,800	300,000
	合計					1,378,528	692,000